

大阪は「まち」がほんまにおもしろい

# 大阪あそび歩

OSAKA ASOBO

## 近代大阪の未来は西にあり！ ～大坂一の魚市・雑喉場から江之子島政府まで～

明治7年(1874)、江之子島に2階建て煉瓦造りのルネッサンス様式の初代大阪府庁舎が竣工しました。川口居留地に近く、西欧の文物・制度を移入するため、また大阪は将来、西に向かって発展すると予想されたため、当時、大阪庶民は「江之子島政府」と呼びました

### 1 信濃橋洋画研究所跡碑

大阪に香り高い文化を根づかせようと、大阪出身の洋画家小出楯重・国枝金三・鍋井克之らが中心になって、大正13年に開設された信濃橋洋画研究所は、理論と実技を組み合わせた特色ある教育を行い、多くの専門画家を輩出しました。その後、研究所は昭和6年中之島に移り、中之島洋画研究所と改称しましたが、昭和19年戦争激化に伴い閉鎖されました。

### 2 大塩平八郎終焉の地碑

大塩平八郎中斎(1793~1837)は、江戸時代後期大坂町奉行所の与力で、陽明学者としても知られ、世を治める者の政治姿勢を問ひ、民衆の師父と慕われました。天保8年(1837)2月19日飢饉にあえぐ民を救い、政治腐敗の根源を断とうとして、門人の武士・農民等を率いて決起しました。乱後大塩父子は、この地に隣接した靱油掛町の美吉屋五郎兵衛宅に潜伏しましたが、同年3月27日幕吏の包围のうちに自焼して果てたとされます。

### 3 靱公園

雑喉場魚市場および靱干魚市場の跡地にあたります。太平洋戦争後、占領軍に損取されましたが、1952年の講和条約で大阪市に返還され、その後、公園として整備されました。

### 4 大阪科学技術館

「科学技術でひらこう、地球のあした」をテーマに、最新の科学技術を展示しております。私たちの暮らしの中に生かされているエネルギー、エレクトロニクス、バイオテクノロジー、地球環境など、さまざまな分野の最新の科学技術をクイズやゲーム、マルチメディアで楽しく学べます。敷地は五代友厚の屋敷跡です。

### 5 靱公園石碑 (梶井基次郎碑、旧飛行場説明跡)

梶井基次郎は、明治34年(1901)、旧西区土佐堀5丁目生まれで、北野中学在学時に靱に住んでいました。東京帝国在学時に同人誌「青空」を創刊、代表作「檸檬」を発表。公園には檸檬の一節が刻まれた石碑があります。また戦後、米軍に損取された時代には、小型機着陸空港として利用されたので、その説明碑もあります。

### 6 楠永神社(御霊神社元宮)

2本の楠(樹齢300余年)が主神です。かつて楠を伐採しようとしたが、けが人が相次ぎ、お祓いをしました。その際に白い蛇が出てきたので、この木は神木なので切ってはいけないとして、今にのこりました。楠永神社が鎮座する前は御霊神社の元宮がありました。御霊神社は800年代後半の創建と伝えられますが、文禄3年(1594)に津和野藩主・梶井氏の寄進で、北船場・淡路町に移りました。

### 7 永代浜跡

靱本町付近にあった海部堀川の荷物陸揚げの便を良くするために開削した約724メートルの堀を永代堀といい、阿波堀川からの屈折点あたりを永代浜と称しました。海産物の荷揚げ・鯉節の専門市場として靱の中心となりました。

### 8 靱海産物市場跡

干物や塩干魚、鯉節など生魚以外の海産物を売買する市場です。17世紀後半から大坂周辺の農村では商業的農業が発達し、干魚(ほしか)は肥料として取引されました。享保9年(1724)には干魚俵数140万俵という記録もあります。

### 9 中国総領事館

正式名は中華人民共和国駐大阪総領事館で、中国と日本・大阪の窓口となっています。旅券査証の発行や政治経済交流が主ですが、近畿と中国・四国を管轄としています。川口居留地の貿易では、華商の手を借りることも多く、こうしたことから1985年、豊中市千里から当地に移転しました。

### 10 雑喉場魚市場跡

江戸時代にはこのあたりは雑喉場町といい、面積3130余坪(サッカー場約1面)を擁する西日本最大の生魚市場でした。堂島米市場・天満青物市場とならび、近世大阪の三大市場と称され、安永3年(1771)問屋株が免許されると、独占的地位が認められました。昭和6年(1931)、大阪市中央卸売市場に吸収合併されました。

### 11 雑喉場橋跡

雑喉場市場の百間堀川に架かっていた橋です。昆布佃煮の老舗「神宗(かんそう)」は、かつて雑喉場橋東詰で商いを営んでいました。神宗・淀屋橋店は当時の雑喉場商人の気質を守りたいと、雑喉場橋の親柱が、今でも保存されています。

### 12 旧大阪市役所江之子島庁舎跡

明治22年(1889)4月、市制導入により大阪市が誕生しました。府知事が市長を兼務し、府庁内に市役所が置かれましたが、同32年(1899)、府庁の北側・木津川東詰に市役所を移転しました。庁舎は木造2階建てで、同45年(1912)、堂島庁舎に移転するまで存続しました

### 13 木津川橋碑

1868年(慶応4年)に架けられました。外国人の居留地が建設された川口と、大阪の行政の中心地だった江之子島を結んだ橋は、大阪と海外を結び架け橋にもなりました。

### 14 阿波堀川跡碑

阿波堀川は阿波座堀川とも呼ばれ、西区にあった堀川の中でもっとも古く、慶長5年(1600)に開削され、西横堀川から分流して西に流れ、百間堀川に流入していました。昭和31年9月、大阪府の防潮堤工事などのため全部埋め立てられました。

### 15 天満宮神幸御上陸地碑

天神祭のクライマックス、船渡御は、戦後の地盤沈下によって船が橋をくぐれなくなったため、今は大川上流に向いますが、明治期から昭和初期までの渡御コースは、大川から堂島川、木津川へと進み、木津川橋下手の江之子島に上陸後、陸路、松島の天満宮行宮の御旅所を目指す船渡御、陸渡御列だったようです。

### 16 旧大阪府庁 江之子島庁舎跡

明治7年(1874)に西町奉行所(現・中央区本町橋)にあった大阪府庁が当地に移転しました。川口居留地に近く、西欧の文化制度を移入するに好適だったこと、大阪は将来、西に向かって発展すると予想されたため、府民は「江之子島政府」と呼びました。



大阪府庁跡  
ありし日の大阪府庁。木津川(川口居留所)方向が正面でした。

木津川橋碑  
こちらは立派な石碑。ここから先は、川口居留所。

大阪市役所 江之子島庁舎跡  
見過ごさないで！あまりにも小さい石碑。こんな扱いでいいの？

大坂船手会所跡  
川口居留地跡

川口居留地跡  
川口居留地跡

川口基督教会  
川口居留地の面影を伝える、唯一の教会。

川口居留地の様子(イメージ)

雑喉場魚市場跡  
江戸時代には西日本最大の生魚市場。サッカー場くらいの規模。

江ノ島西公園  
江ノ島西公園

中国総領事館  
中国総領事館

靱公園  
靱公園

靱海産物市場跡  
靱海産物市場跡

阿波堀川跡  
阿波堀川跡

阿波座駅  
阿波座駅

津波・高潮ステーション  
最後は、津波のお勉強。地震も怖いけど、津波もコワイ！

晴れた日にはオープンカフェもある。黒猫がお出迎えしてくれるかも？

もともと、占領軍の飛行場跡地を失業対策で公園に。それを示すのは、この小さな石碑だけ。

西園は、国際試合もできるセンターコートなど、本格的な設備のデニスコートがある。

靱公園  
東園は、春と秋はバラ、冬は水仙、秋にはケヤキ並木の紅葉も楽しめる。

大塩さん、本当はこのあたりで亡くなったそう……。

大塩平八郎終焉の地  
大塩平八郎がここで亡くなったという、立派な石碑はあるけれど……。

楠永神社  
ご神木の楠の大きさに圧倒されます。

「みやこ」  
大正2年創業のお寿司屋さん

このストリート、レトロでおしゃれな建物多し。喫茶店やレストラン、ブティックなど。覗いてみると楽しそう！

大阪科学技術館(五代友厚屋敷跡)

四ツ橋線 本町駅

信濃橋洋画研究所跡  
まち歩きが始まって、いきなり石碑があります。